

とっとり退職者連合

速報第 92 号 2024 年 11 月 5 日

鳥取退職者連合

〒680-0847 鳥取市天神町 30-5
TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615
発行人・山田敏明 編集人・西村一秋

鳥取退職者連合発

■2025 年度活動方針 & 役員決定！ - 「第 32 回定期総会」開催 - ■

鳥取退職者連合は10月1日(火)、国民宿舍水明荘(湯梨浜町)に55人が集い「第32回定期総会」を開催し、2024年度の活動総括と会計決算・会計監査報告ならびに2025年度活動方針・予算、新年度役員を決定した。

開会にあたり、参加者全員で今年6月にご逝去された磯江悦志会計監査に黙とうを捧げた。

赤井堯副会長の開会あいさつ後、福井康夫代議員(自治退/写真上右)を議長に選出し、山田敏明会長(写真上左)があいさつを行い、続いて来賓のみなさまから激励のあいさつをいただいた。



【来賓】(写真左から)

- ・日本労働組合総連合会鳥取県連合会 山口 一樹会長
- ・日本退職者連合 岩崎 長久副事務局長
(写真は下記「全県学習会」に掲載)
- ・立憲民主党鳥取県総支部連合会代表
(湯原 俊二衆議院議員代理) 湯原 裕子様
- ・中国労働金庫北部エリア営業本部 仲田 敏幸本部長
- ・こくみん共済 coop 鳥取推進本部 松崎 浩哉本部長
- ・(一財)鳥取県労働者福祉協議会 重村 和光専務理事



議事では、西村一秋事務局長(写真左)による経過報告と会計決算報告、福田豊会計監査(写真中)の監査報告が行われ、報告事項について承認された。

続いて、活動方針案と予算案の提案と、伊藤源蔵役員選考委員長(写真上右)より次期役員の提案がされた。加藤幸博代議員(JP労組退職者の会)から「2024年介護報酬改定により訪問介護・生活支援報酬が引き下げられた問題点について改善を要求すべき」との意見があり、「改善点については早急に改善するよう国に求めていく」と回答し、代議員の満場一致の拍手によりすべての議案が承認された。



＜参加者内訳＞
代議員 28人
(定数 31人)
執行部 18人
(定数 18人)
来賓 6人
オブ参加 3人

2025年度役員名簿

役職名	名前	組織名	備考
会長	山田 敏明	東部地区協 (NTT労組退職者の会)	
副会長	宮本 秀美	中部地区協 (J.R西労組退職者協議会)	
"	赤井 堯	西部地区協 (J.R西労組退職者協議会)	
事務局長	西村 一秋	J.P労組連協退職者の会	
幹事	原 進	NTT労組退職者の会	新
"	西村 典道	J.P労組連協退職者の会	
"	伊藤 源蔵	自治退	
"	板持 租	J.R西労組退職者協議会	
"	佐藤 真弓	日教組 (退職女性教職員会の会)	
"	山川 武彦	私鉄日ノ丸支部退職者協議会	新
"	後藤 康夫	UAゼンセンにこやか友の会	
"	植木 忠二	林退会	
"	秋久 正行	日教組 (退職教職員協議会)	
"	田中 照幸	東部地区協 (NTT労組退職者の会)	
"	平田 義人	中部地区協 (自治退)	
"	中島 ちから	西部地区協 (自治退)	
会計監査	福田 豊	自治退	
"	市本 隆	日教組 (退職教職員協議会)	新

＜退任役員あいさつ＞

＜新任役員あいさつ＞



左から/角敏男(前)幹事(NTT労組) 正木直志(前)幹事(私鉄日ノ丸) 原進幹事(NTT労組) 山川武彦幹事(私鉄日ノ丸) 市本隆会計監査(鳥退教)

■「全県学習会」も開催■

テーマ 「少子高齢化と年金制度改正」

講師／日本退職者連合 副事務局長 岩崎長久さん(写真右)

総会終了後、「全県学習会」を開催しました。日本退職者連合副事務局長の岩崎長久さん(写真右)を講師に「少子高齢化と年金制度改正」について講演をいただいた。

特に「2024年財政検証結果の概要を説明され次期年金制度改正(2025年)に向けて、現受給者の年金を守るとともに、将来の年金受給世代が貧困に陥らない年金水準を確保できることを念頭に政策・制度要求の実現めざしている」との報告があった。



■「第28回グラウンド・ゴルフ大会」で親睦を深める■

10月10日(木)、北栄町お台場公園・多目的広場に135人の選手を含む148人が集い、「第28回グラウンド・ゴルフ大会」を開催した。

＜開会式＞

北栄町副町長の岡本圭司さんをはじめ、衆議院解散総選挙で鳥取選挙区立候補予定者の湯原俊二さん、朝倉浩之さんが駆けつけてごあいさつをいただいた。また、日頃から鳥取退職者連合の活動にご理解とご協力をいただき、本大会に賞品もご提供いただいた福祉・事業団のみなさんも朝早くからお出でいただき激励の言葉をいただいた。



＜来賓のみなさん＞



(写真左から) 岡本圭司北栄町副町長 湯原俊二さん あさくら浩之さん 山口一樹連合鳥取会長 常松美紀中国労働金庫北部エリア事務局長 松崎浩哉こくみん共済 coop 鳥取推進本部長 重村和光鳥取県労働者福祉協議会専務理事 蓑原美百合北栄町議会議員 勝田鮮二鳥取市議会議員

＜競技の様子＞



＜成績＞ 参加者／団体戦 23チーム(6組織)(115人)※1チーム5人
個人戦(7組織)(135人) スタッフ(5人)

①団体戦(5人1チーム) 打数 ホールイン

優勝 自治退・中部・A 198打 2本

準優勝 JP労組・西部・A 202打 3本

第3位 情報労連・東部・A 205打 3本

②個人戦(敬称略) 打数 ホールイン

優勝 植田 豊(情報労連) 30打 2本

準優勝 手嶋 武行(自治退) 32打 2本

第3位 田中 博明(情報労連) 35打 1本

※同点の場合は2打の数、3打の数、年齢により決定

③飛び賞他 飛び賞、特別賞(最高齢者含む)、BB賞、BM賞、ホールインワン賞



団体優勝



個人優勝



団体準優勝



団体第3位

鳥取退職者連合 & 連合鳥取発

■ 第50回衆議院議員選挙選挙結果 退職者連合のみなさんのご協力に感謝します!!

連合鳥取は、10月15日(火)公示・10月27日(日)投開票の「第50回衆議院議員選挙」に、あさくら浩之さん(鳥取県第1区)、湯原俊二さん(鳥取県第2区)を推薦し、鳥取退職者連合も「現退一致」の取り組みとして協力してきました。

全国的には自民党の「政治と金問題」などに対する厳しい国民の視点から立憲民主党、国民民主党などの候補者が勝利する結果となりましたが、鳥取県では、初の総理大臣誕生の影響を受け、残念ながら、2人の候補とも惜敗の結果となりました。

短い期間での取り組みにもかかわらず、多くの役員、会員のみなさんにご協力いただき心より感謝申し上げます。

※連合鳥取機関紙「れんごう鳥取」No.11より抜粋

構成組織と仲間のご奮闘に 感謝申し上げます

—第50回 衆議院議員選挙 惜敗—

第50回衆議院議員選挙が、10月15日(火)公示、27日(日)投開票の日程で行われました。

鳥取1区には15年ぶりに「選択肢」が示され、連合鳥取が推薦した朝倉浩之さんは、現役総理の壁が厚く残念ながら奮闘及ばず次点で落選となりました。

鳥取2区では、連合鳥取推薦議員の湯原俊二さんが再選をめざしましたが、こちらも現役大臣の壁に阻まれ、また比例区での復活当選もかなわず、悔しい落選となりました。

臨時国会での解散から選挙までの期間が大変短く、周知・浸透を図る間もなく、全国的な傾向とは真逆の風もあり、序盤から与党候補盤石と報道されるなど大変厳しい情勢の中にも関わらず、構成組織・単組・地域協議会のみなさんは、各地で連日連夜献身的に、最後まであきらめることなく取り組みを進めていただきましたことにお礼を申し上げます。

連合鳥取は、今回の選挙結果を真摯に受け止め、引き続き私たち連合鳥取がめざす社会像である「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、弱者切り捨て、都会・富裕層優先の政治を改め、命と生活を守る国民目線の政治への転換を図り、加えて、働く人一人ひとりが輝き、「男女平等参画・ジェンダー平等」推進のもと魅力ある雇用・労働環境の創出に向け、政治活動・労働運動に取り組んでまいります。

選挙結果

■投票率 57.18%

鳥取県第1区	あさくら 浩之	立憲民主党(新)	12,389
	当 石破 茂	自民党(前)	106,670
	岡田 正和	共産党(新)	6,220

■投票率 59.01%

鳥取県第2区	湯原 俊二	立憲民主党(前)	43,696
	当 赤沢 亮正	自民党(前)	81,526
	福住 英行	共産党(新)	6,655



鳥取退職者連合発

■ 鳥取県へ 「2025年度社会保障制度等に関する要請書」提出 ■

11月1日(金)、山田敏明会長他4人が鳥取県庁へ出向き、亀井一賀(かずよし)副知事に「2025年度社会保障制度等に関する要請書」を手交付した。

この要請行動は、高齢者・年金生活者が安心して暮らしていくことができる福祉社会の実現と、慣れ親しんだ地域で安心して暮らし続けてい



亀井副知事(左)に要請書を手交する山田会長

くには社会保障制度のより一層の充実が求められると考え、毎年、鳥取県に対し行っているものである。

要請行動は短時間の時間設定であったので、意見交換では「12月2日、現行の健康保険証の廃止が迫る中、依然として、マイナー保険証の利用率が低く混乱が予測される。高齢者が診療を控える事態が生じないよう現行の健康保険証が利用できることを広報するよう」訴え、意見交換を行った。亀井副知事からは「マイナー保険証の利用率が低いことは事実である。高齢者が診療を控えることがあってはならない。県としても現行の健康保険証が利用できることを広報していきたい。」との意見表明がなされた。

要請書に対する回答を受けた後、担当部局との意見交換会を行う予定である。

【参加者】 鳥取退職者連合／山田敏明会長 宮本秀美副会長 赤井堯副会長 西村一秋事務局長
連合鳥取／藤縄和彦副事務局長
鳥取県／亀井一賀副知事 河野商工労働部雇用・働き方政策課長

東部地区協発

■ “山陰海岸ジオパーク一斉清掃 (秋の鳥取砂丘一斉清掃)” 参加 ■

春と秋の観光シーズンに合わせて1980(昭和55)年から始まった「鳥取砂丘一斉清掃」。

鳥取退職者連合は1998年より参加してきている。当初は全県の取り組みとしてスタートしたが、その後、東部地区協議会の取り組みとなった。東部地区協は毎回、構成組織に呼びかけ、ボランティア活動として参加してきている。

今年の秋は、10月6日(日)、山陰海岸ジオパーク一斉清掃として、全体で約2,500人(70団体・個人)の参加により開催され、東部地区協役員・会員・ご家族の8人が参加した。



■ “とうふちくわ” を作って交流深める！ ■

東部地区協は、健康的な生活を送るために外へ出て活動しようとして、昨年引き続き「りんご狩り」を計画した。しかし、予定の10月30日(水)の天気予報が「雨」となっていたことから、内容を「とうふちくわ手作り体験」に変更し、鳥取市河原町の「とうふちくわの里・布袋店」の「とうふちくわLab」に14人(NTT労組・JP労組・JR西労組・事務局)が集い体験した。

